

(令和4年度補正予算「有志国間の信頼できるサプライチェーンへの参画支援事業」)
「メコン地域における次世代シルク産業バリューチェーン共創に向けた調査・現地支援事業」
に係る企画提案の公募について

1. 事業趣旨・目的

本事業は、メコン地域（カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム）と日本との間で、シルク産業に焦点を当てた新たな価値共創型経済協力モデルを構築し、域内連携を通じた持続的な産業発展及び経済成長を後押しすることを目的とする。

日本において、シルク産業はかつて経済発展を支えた重要な産業であったが、化学繊維の普及や海外からの廉価製品の流入により急速に縮小した。現在では商業規模の桑畑は限られ、国内シルク原料である生糸の自給率は約0.2%と極めて低い。一方、世界のシルク市場は、ファッションに対する消費者の高級志向の高まりや、持続可能性を重視する機運の醸成によって再び需要が高まりつつあり、市場規模は、2025年から2030年にかけて年平均5.82%拡大するという予測もある。世界市場においては、中国とインドが支配的な地位を築いてきたが、近年は、養蚕農家の高齢化や労働力不足、人件費や用地コストの高騰から、特に中国での生産量が減少傾向にある。そのため、それらをカバーするための代替生産地を求める動きも強まっている。

こうした中、桑栽培に必要な広大な耕地、温暖な気候、適度な雨量と豊富な日照量の条件を備えたエリアが複数存在するメコン地域は、若年層の労働力が充実している点も相まって、有望な代替生産地として注目されている。しかし、依然として伝統的手法が中心であるため、桑栽培や養蚕工程の生産性や生糸等の加工品の品質管理、高付加価値化の面で課題を抱えている。各国の政府や現地企業から十分な支援が得られていない中、日本の高効率な桑栽培・養蚕技術や、高品質なシルク製品の製造技術を展開することは、現地の生産者を巻き込みつつ、地場産業の付加価値向上、ひいては中長期的な基盤強化に寄与するものと考えられる。さらに、各プロセスの中で得られる産物のうち、桑葉や蛹は食料用途、シルクは医療・化粧品・新素材等の用途という形で、多様な分野での応用が可能であり、サステナビリティの観点から化学系素材への国際的な評価が厳しくなる中で、日本における関連産業の基盤強化や新たな市場創出といった裨益も期待される。

本事業では、メコン地域と日本との協力によるシルク産業の価値共創モデルに関する仮説構築を目的に、上記技術の導入によって、現地生産者を巻き込んだ地場産業の付加価値向上と中長期的な基盤強化に繋げられるエリアを選定する。その上で、現状・課題、日本の先端技術の貢献可能性を調査し、具体的なビジネスモデルを立案する。また、桑葉や蛹の利活用、シルクの医療・化粧品・新素材分野への応用など、多様な用途展開を通じ、日本およびメコン地域双方における関連産業の強化と新市場創出を進めるため、現地関係者や有望需要家等の認知度向上に向けたアウトリーチを展開する。

2. 業務内容

本業務は、日アセアン経済産業協力委員会（AMEICC）より事務局（AMEICC事務局）を委任された一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）から委託を受けて、受託者が以下の（1）及

び(2)の業務を行うものである。具体的な実施内容、実施方法については、提案によるものとし、実施にあたっては、AMEICC事務局、経済産業省通商政策局アジア大洋州課とよく相談をした上で最終的な方針の決定を行う。なお、提案にあたっては以下に留意すること。

(1) メコン地域におけるシルク産業の価値共創モデルに関する仮説構築と日本の先端技術の貢献可能性に関する調査

シルク産業の上流(桑栽培)から下流(シルク製品加工)までの自律的かつ安定的なバリューチェーン構築および価値共創の実現を目指し、メコン地域においてシルク産業の発展可能性が特に高いと考えられるエリアを3~5カ所程度選定し、上流から下流までの現状、一連の工程に関わる地場の農業者・商工業者等の課題とそれらに対する政府等からの支援状況、ならびにこれらの課題解決に対するAI・ロボティクス等、日本の先端技術の貢献可能性についてエリアごとに調査・分析する。調査・分析に当たっては、各エリアの実情を詳細かつ的確に把握する観点で、現地の大学・研究機関等と効果的に連携するとともに、貢献可能性がある日本の先端技術については、可能な限り工程ごとに候補を挙げること。

その上で、選定した各エリアについて、日本の先端技術やそれらと連動するシルク産業の専門的知見を活用しながら価値共創を進めるための具体的なビジネスモデルを立案し、選定した各エリアにおける実現可能性とエリア間、ひいてはメコン地域全体での連携可能性を検討する。その際、(2)以降の取組に向けた基盤を構築するため、参画可能性がある地場の農業者・商工業者、大学・研究機関等を1エリアにつき合計3者以上リスト化するとともに、ターゲットとなる市場と市場ごとの有望需要家を特定し、競合する他地域産のシルク製品や、代替性を有する化学繊維製品等との価格差等を念頭に置きつつ、最適な物流・商流の具体像とその実現に向けたロードマップを準備すること。

(2) メコン地域のシルク産業に対する現地関係者及び有望需要家の認知度向上、取組機運醸成に係るセミナー・ワークショップ等の開催

(1)の結果を基に、メコン地域のシルク産業のポテンシャルと、生産性向上、高付加価値化に対する具体的なアプローチに関する認知度を高めるため、各エリアにおいて、(1)でリスト化した者を中心に、農業者・商工業者、大学・研究機関、政府機関、産業支援団体等の現地関係者を対象にしたワークショップ等を1回以上開催する。開催形式は、対面・オンライン・ハイブリッドを問わないが、桑栽培や養蚕、製品加工等に関する専門的知見を有する講師や、ワークショップ運営に長けたモデレーターを招聘する等、後続のプロセスに対する現地関係者の参画意欲・取組機運を高めるための工夫を行うこと。

加えて、(1)で特定した有望需要家をターゲットに、具体的なビジネスモデルの実現可能性、生産される素材や製品の将来性・競争優位性等を発信するセミナー等を3回以上開催する。開催形式は可能な限り対面とし、日本国内向けを必ず1回以上含むこと。その上で、政府機関や産業支援団体を中心とした現地関係者を招聘し有望需要家と引き合わせる等により、ビジネスモデルに対する有望需要家からの信用獲得に努めること。

(3) 留意事項

- ・ 2. (1) 及び (2) に記載の内容に限らず、より優れた提案内容や手法がある場合は、自由に提案して差し支えない。
- ・ 受託者においては、日本及びメコン地域の双方におけるネットワークを有し、情報収集や連絡調整等の柔軟な対応ができることが望ましい。また、本調査の実施にあたっては、AMEICC事務局、経済産業省通商政策局アジア大洋州課ともよく連携すること。
- ・ 事業の進捗状況については、AMEICC事務局、経済産業省通商政策局アジア大洋州課からの指示に応じて適宜報告を行うこと。

3. 成果物

(1) 以下の事項を含んだ事業報告書（特段定めのない限り日本語）：

2. 業務（1）及び（2）の結果報告（以下の事項を含む）

- ・ 選定した各エリアにおけるシルク産業の現状
- ・ 選定した各エリアにおける上流（桑栽培）から下流（シルク製品加工）までの工程に関わる地場の農業者・商工業者等の課題とそれらに対する政府等からの支援状況
- ・ 前項の課題解決に対する日本の先端技術（AI、ロボティクス等）の貢献可能性および技術導入による各エリアのシルク産業の生産性向上・高付加価値化シナリオ
- ・ 選定した各エリアにおけるビジネスモデル案
- ・ 当該モデルの各エリア及びメコン地域全体での実現可能性（地理的・経済的・制度的条件の分析）
- ・ ターゲット市場及び有望需要家等を念頭に置いた物流・商流イメージとその実現に向けたロードマップ
- ・ 現地関係者に対するワークショップ、有望需要家に対するセミナー等の参加者リスト及び開催結果（アンケート結果も含む）

(2) 納品形態：電子媒体

(3) 提出期限：2027年7月30日（金）

(4) 提出場所：以下の①、②が指定するデータ送付方法及び送付先に従って、それぞれに対して提出すること。また、適宜求めに応じ、印刷物も納入すること。

① （一財）海外産業人材育成協会

海外統括部 海外戦略・AMEICC事務局支援グループ

東京都足立区千住東1-30-1

TEL：03-3888-8244

② 経済産業省通商政策局アジア大洋州課

東京都千代田区霞が関1-3-1

TEL：03-3501-1953

4. 契約要件

- (1) 契約形態：準委任契約
- (2) 契約方法：概算契約
- (3) 採択件数：1件
- (4) 契約期間：契約日より2027年7月30日（金）までとする。
- (5) 予算規模：40,000,000円（消費税を含む）を上限とする。なお、最終的な実施内容、契約金額については、採択された企画提案を確認・調整した上で決定することとする。なお、受託者は、委託金の実績額（消費税を含む）の50%以上の委託業務を、同一グループ内の現地法人を除く第三者に委託すること（請負その他委託の形式を問わず、委託業務の一部を第三者に委託すること。以下、再委託。）はできない。また、一般管理費の算定は、再委託費を除いた直接費に一般管理費率を乗じて行い、一般管理費率は10%を上限とする。
- (6) 契約者：一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）
- (7) 支払い：事業終了時に受託者より提出される実績報告書及び本業務に要した経費の証憑に基づき、原則として現地調査を行って支払額を確定し、精算払いする（円貨により銀行振込）。なお、支払額は、契約金額の範囲内であって実際に支出を要したと認められる費用の合計であるため、全ての支出において帳簿類及び領収書等の証拠書類が必要となる。これを満たさない支出については、支払額の対象外となる可能性もある。

6. 応募資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 経済産業省所管補助金交付等の停止及び契約に係る指名停止等措置要領（平成15・01・29会課第1号）別表第一及び第二の各号第一欄に掲げる措置要件のいずれにも該当しないこと。
- (3) 本業務を的確に遂行するに足る組織・体制及び人員等を有していること。
- (4) 本業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、資金等について十分な管理能力を有していること。
- (5) 日本に法人格を有するものであること。
- (6) 2026年7月において有効な、国の各省各庁における競争参加者資格審査により、役務提供等（調査・研究）の「C」の等級又はそれ以上の等級に格付けされている競争参加資格を有する者であること。
- (7) 会社更生法（昭和27年法律第172号）に基づき更生手続き開始の申し立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申し立てがなされている者ではないこと（手続き開始の決定後、再認定を受けている者を除く）。

7. 参加意思表示及び質疑

(1) 参加意思表示

本企画競争への参加を希望する場合は、2026年7月6日（月）午後3時【必着】までに公募申請書をE-mail添付で送付して参加意思を表明すること。

(2) 質疑

質疑受付期限：2026年7月6日（月）午後3時【必着】

質疑受付方法：E-mailで受け付ける

質疑回答：受け付けた全ての質問については、2026年7月8日（水）午後4時までに、公募への参加の意思表示をされた全ての方にE-mailにて開示する。

8. 応募方法

本公募要領を熟読の上、上記6. の応募資格を満たしていることを確認し、2026年7月16日（木）午後4時まで【必着】に、下記9. の応募書類をAOTSの大容量ファイル受送信システムを使用して提出すること。（送信方法については個別に案内する。）

応募書類の宛先

一般財団法人海外産業人材育成協会

海外統括部 海外戦略・AMEICC事務局支援グループ

担当：鮎合、新井

E-mail：kobo-amcshien-wc@aots.jp

9. 応募書類

(1) 公募申請書

(2) 企画提案書

①様式第1 業務従事予定者の経歴、職歴、資格

②様式第2 類似業務経験

③様式第3 業務支援体制

④様式第4 作業計画・要員計画

⑤様式第5 受託業務費見積書

(3) 会社概要（事業概要）書

(4) 直近3年分の決算報告書（貸借対照表及び損益計算書）（企業の単体ベース。ただし、連結がある場合には、連結決算書も併せて提出）

(5) 登記簿謄本（履歴事項全部証明書／3ヶ月以内のもの）

(6) 2026年7月において有効な国の各省各庁における資格審査結果通知書(全省庁統一資格)

※（１）、（２）は、所定の様式（当協会HPの本企画競争公告よりダウンロード可）なお、（２）の所定の様式については、様式に記載されている項目を全て含むのであれば、Power PointなどWord以外の書式で作成して提出しても良い。また、Power Pointなどで作成した資料を別紙としても良い。

10. 審査方法

（１）提出された応募書類に基づき、企画競争方式による審査を行う。審査は、提出書類に基づく書面審査によるが、場合によりヒアリング等を行うこともある。

審査項目：

- ・提案内容（提案内容の妥当性・独創性、実施方法の妥当性・独創性）
- ・組織の経験・能力（類似業務の経験、業務実施能力）
- ・業務従事者の知識・経験（本業務分野に関する知識、業務歴）

（２）審査結果（採択又は不採択の決定）は、速やかに通知するものとする。なお、採択・不採択の理由等個別の問い合わせについては応じられない。

（３）応募書類に記載された情報については、審査、管理、確定、精算、政策効果検証といった一連の業務遂行のためにのみ利用する。なお、提出書類は返却しないので、留意すること。

11. 問い合わせ先

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）

海外統括部 海外戦略・AMEICC事務局支援グループ

E-mail: kobo-amcshien-wc@aots.jp

※本件に関する問い合わせは、E-mailにて受け付ける。

以上